

# 財政状況の公表（平成29年度上半期）概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

## 平成29年度予算のあらまし

補正額 3億3,595万3千円

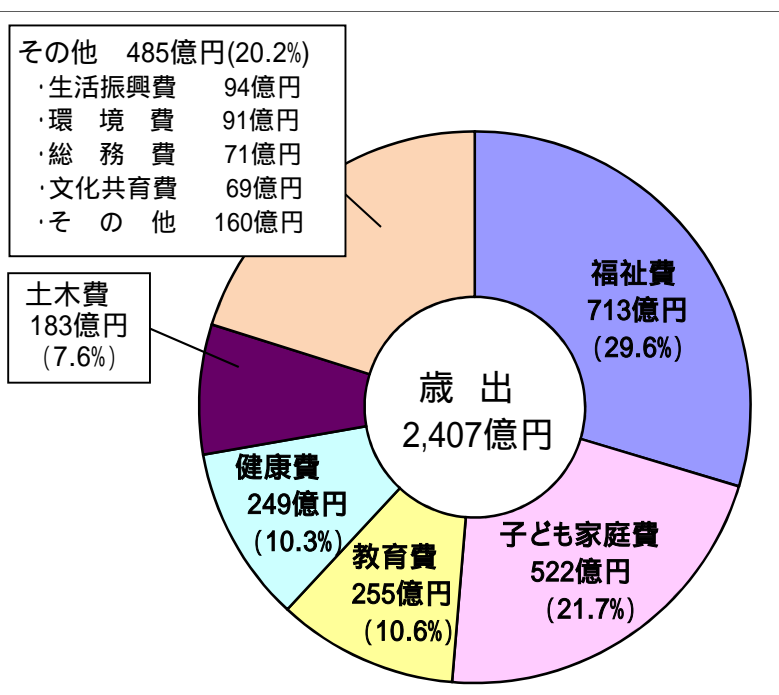
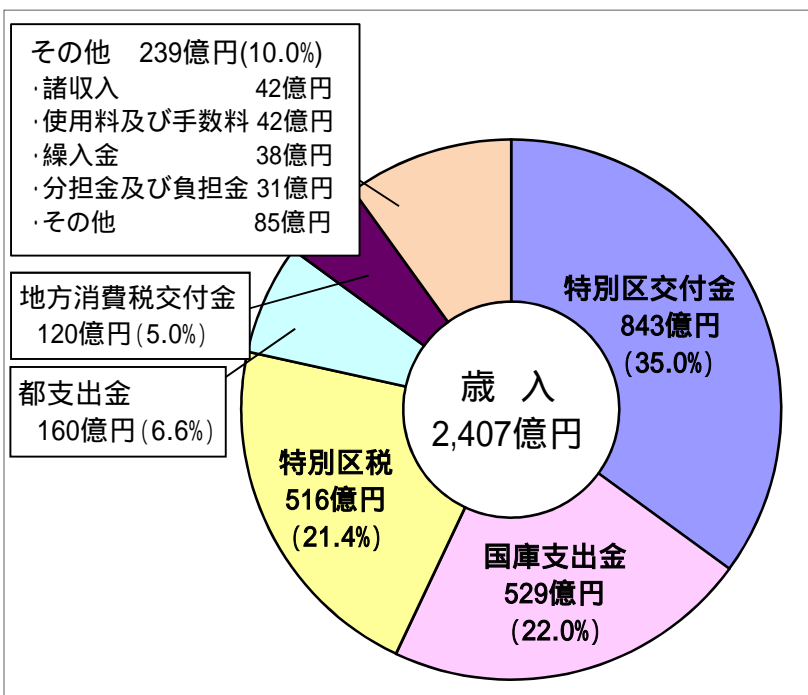
### <歳入>

繰越金	2億2,265万7千円
国庫支出金	9,742万1千円
寄付金	1,195万9千円
諸収入	250万円
都支出金	141万6千円

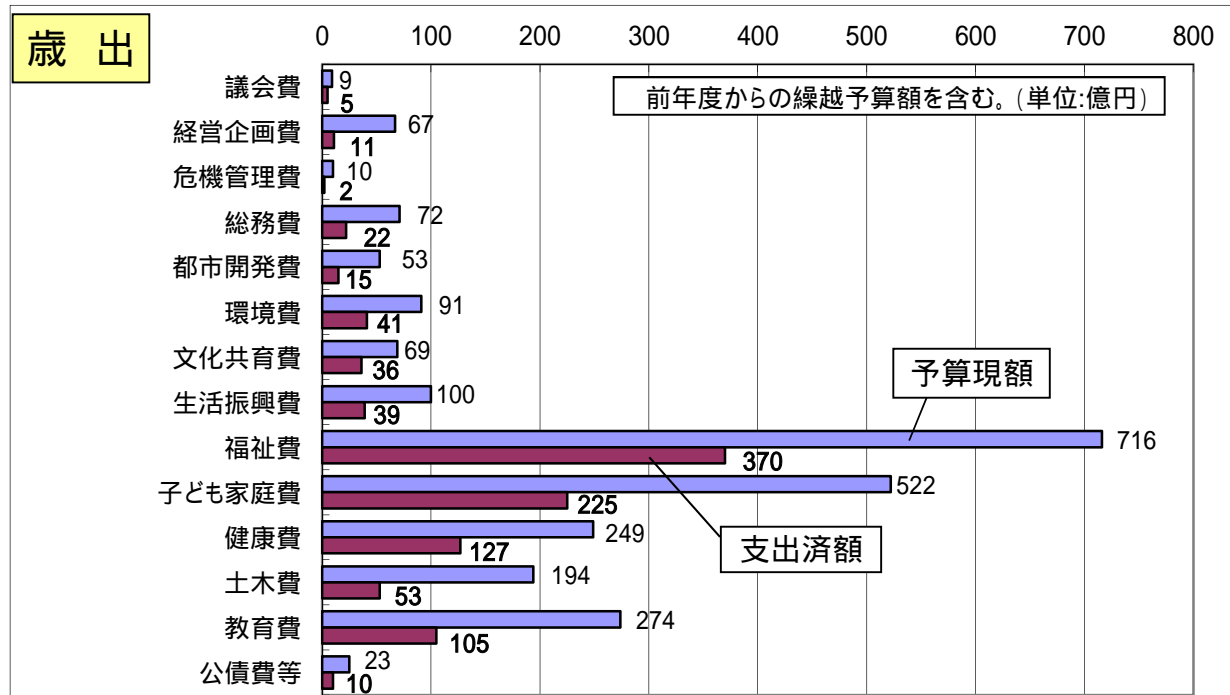
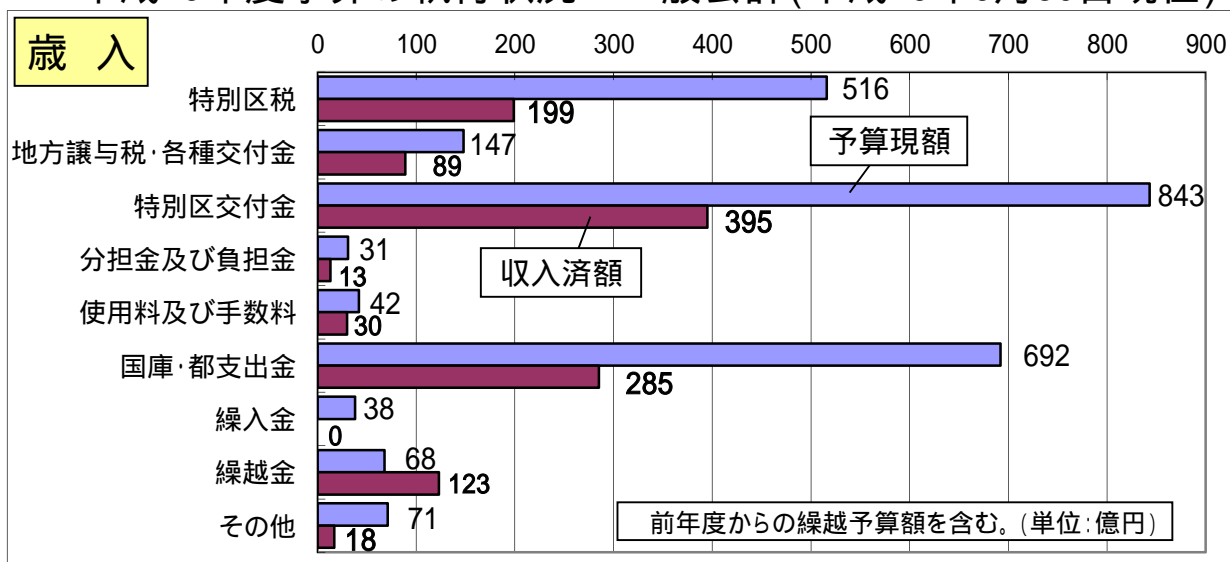
### <歳出>

瑞江第三中学校施設改築費 (基本設計・実施設計及び事前調査等経費)	1億6,521万円
北小岩一丁目東部土地区画整理事業費 (引渡し延期に伴う仮住居費の追加)	9,342万1千円
学校施設整備費(小学校) (小岩小学校相撲場建設経費)	3,200万円
子どもの食の支援事業費 (食の支援員派遣及び配食サービス事業実施経費)	1,232万1千円

## 補正後の一般会計予算の構成

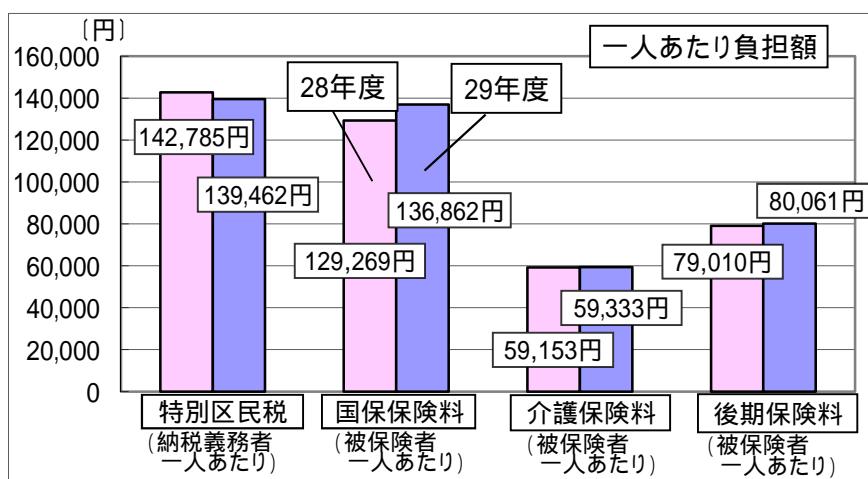


## 平成29年度予算の執行状況 一般会計(平成29年9月30日現在)

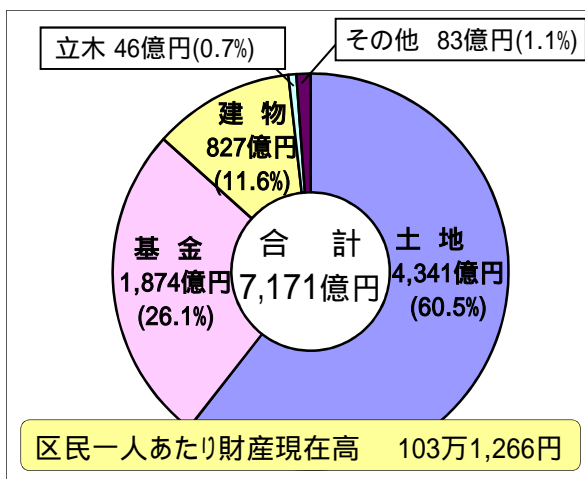


江戸川区の人口(住民基本台帳人口 外国人を含む) 695,403人(平成29年10月1日現在)

## 区民の負担概況 (平成29年9月30日現在)



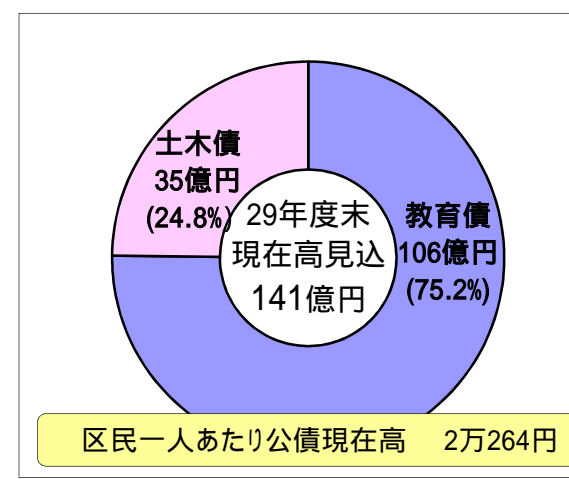
## 財産の現在高 (平成29年9月30日現在)



### 基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。  
積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は1,669億円です。  
運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

## 公債の現在高 (平成29年9月30日現在見込)



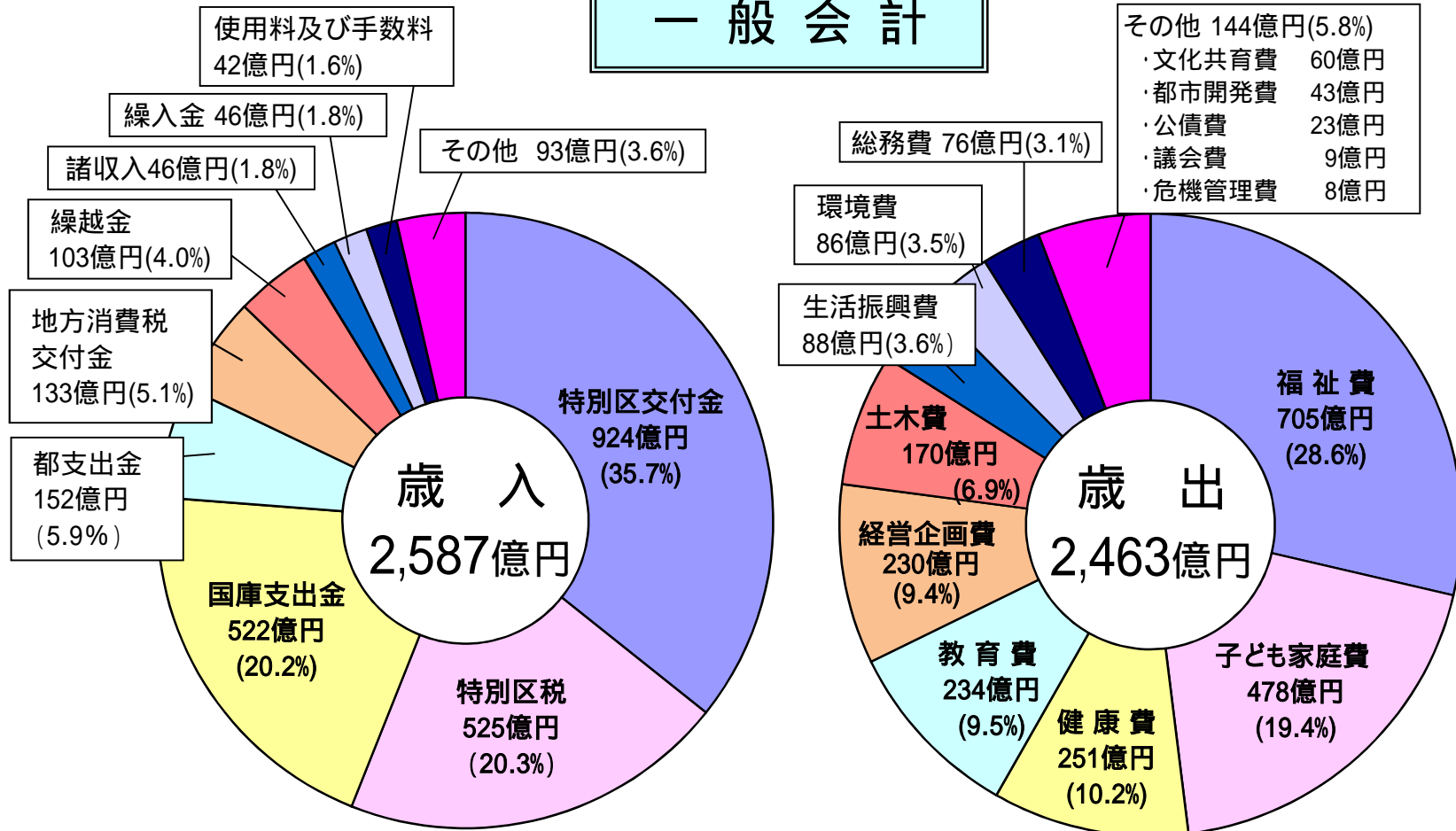
### 公債(区債)とは...

家計でいうと住宅ローンなどの借金です。  
道路整備や学校の改築など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借入れ、負担の公平を図っています。

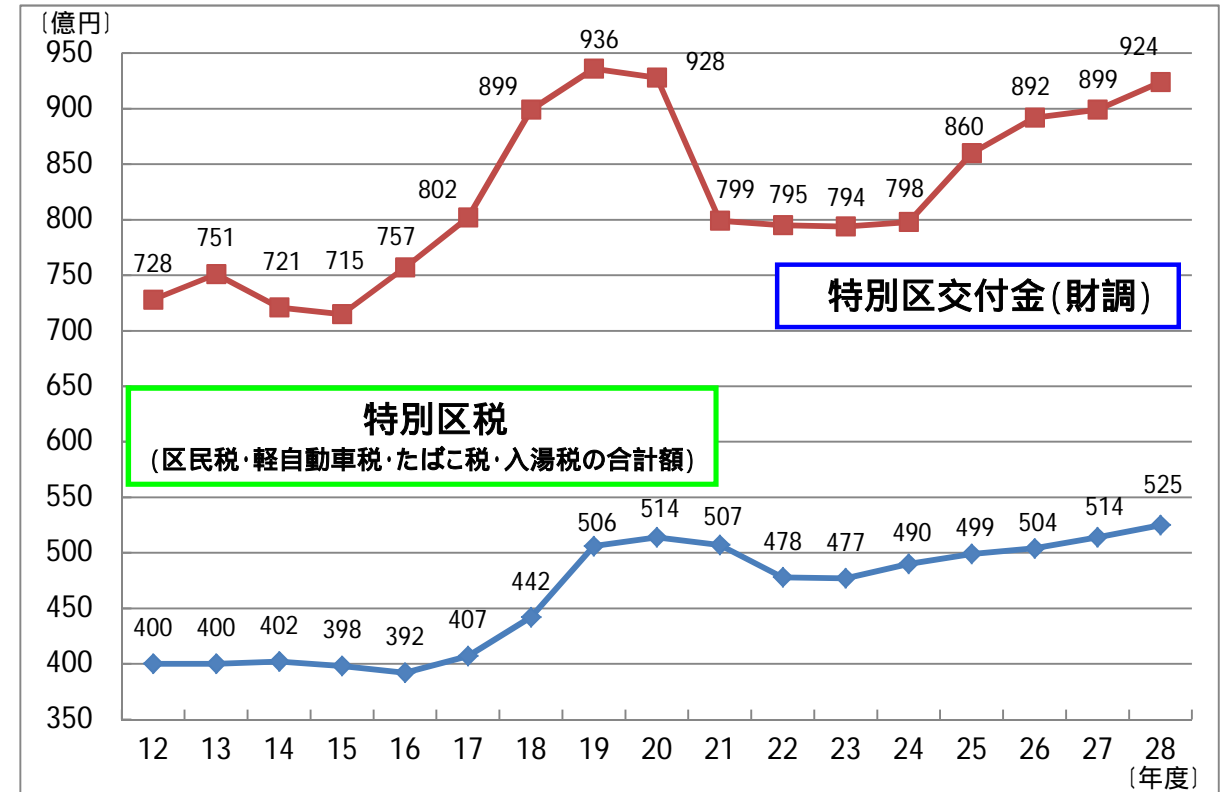
# 平成28年度 決算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

## 一般会計



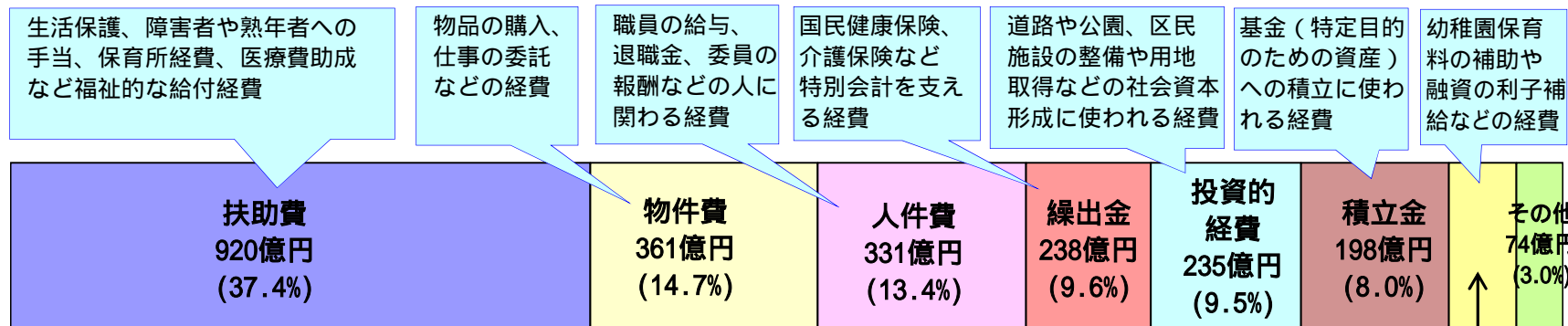
## 特別区交付金と特別区税の推移



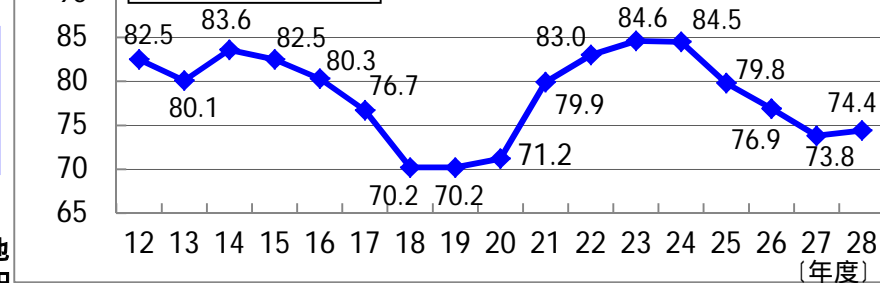
### 特別区交付金と特別区税

平成20年度以降、景気低迷等により特別区交付金や特別区税は、横ばいの状態が続いていましたが、日本経済の景気回復の影響を受け、平成28年度も増収となりました。

## 歳出の性質別内訳



## 経常収支比率



### 経常収支比率

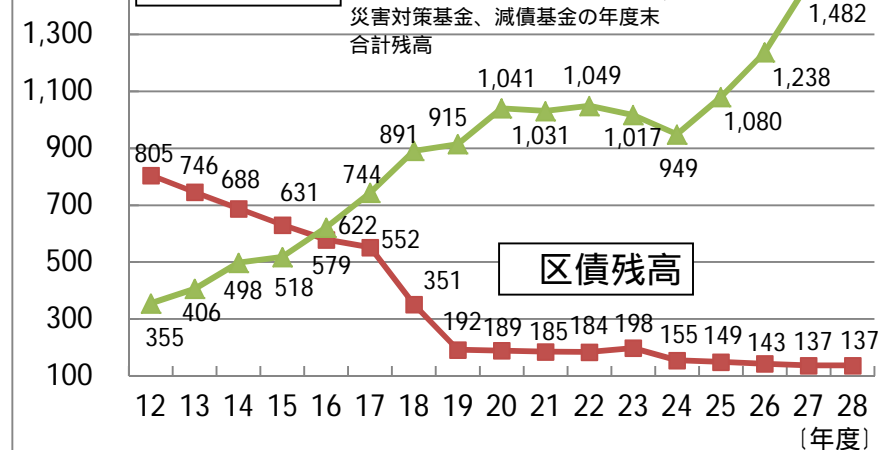
財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%~80%です。28年度は、前年度から0.6ポイントの上昇で4年連続適正水準となりました。

## 平成28年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
江戸川区	-	-	6.1%	-
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

表中の「-」はマイナス値を表し、28年度決算が黒字であったことと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「」と表示しています。早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で、江戸川区の場合の指標を記載しています。

## 基金残高



### 区債と基金の残高

区債残高は、24年度以降減少が続き、28年度末では前年同額の137億円を維持しています。主要6基金残高は、「JR小岩駅周辺地区等街づくり基金」などへの積立により、前年度より168億円の増加となりました。